

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：アジアの土木計画	
日付：11 月 1 日（土）曜日、セッション時間： 9：00 ～ 10：30	
司会者名（所属）：福田 敦（日本大学理工学部）	
討 議 内 容	セッション全体： 3 つのテーマがそれぞれ異なっていたので、セッションとしてのまとまりはなかったが、個々のテーマは、必要性の高いもので、議論は有意義であった。 朝早く出席者が少なかったのが残念であった。
	（発表番号）発表者名（所属）：金子 彰（東洋大学） ・越境交通インフラ整備と国境をまたぐ地域開発における課題の違い → 単なる通過交通への対応では地域に効果をもたらさない。 ・国境のセキュリティ： → 物流は IC タグ、2 重国境（米国）など。 ・EU の制度に類似の制度を導入する可能性 → 参考になる。 ・日本の制度の導入 → 鉄道沿線開発、港湾開発を参照。
	（発表番号）発表者名（所属）：劉 昆（東洋大学） ・だれが、開発を実施するのか？ 住民と政府の協働。 ・日本の TMO の様な仕組みは可能か？ 同じはないが可能。
	（発表番号）発表者名（所属）：Soulivanh SOUKSAVATH（立命館大学） ・収益はどこから来るのか？； 最終的には住民から利用料を取る。 ・目的関数の説明； 詳しく説明した。 ・どのようにモデルを検証するのか； 過去のデータですべき。